

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づく

教育委員会の点検・評価

(平成30年度対象)

令和元年8月

富津市教育委員会

目 次

I. はじめに

- 1. 本市の点検・評価の概要…………… 1
- 2. 教育委員の活動状況…………… 2

II. 点検・評価

- 1. 学校教育の充実…………… 4
 - (1) 教育総務課の取り組み…………… 6
 - (2) 学校教育課の取り組み…………… 8
 - (3) 教育センターの取り組み…………… 11
 - 外部評価者による評価…………… 14
- 2. 生涯学習の充実、青少年健全育成の推進、文化・芸術活動の推進、
文化財の保護と活用…………… 16
 - (4) 生涯学習課の取り組み…………… 17
 - (5) 公民館等の取り組み…………… 20
 - ア. 中央公民館…………… 20
 - イ. 富津公民館・埋立記念館…………… 22
 - ウ. 市民会館・峰上地区公民館…………… 24
 - 外部評価者による評価…………… 26
- 3. スポーツ・レクリエーションの振興…………… 28
 - (6) 生涯学習課（スポーツ振興係）の取り組み…………… 29
 - 外部評価者による評価…………… 31

I. はじめに

1. 本市の点検・評価の概要

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項で、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その報告書を議会に提出するとともに公表するよう定められています。また、同条第2項では点検・評価にあたっては、教育に関して学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

富津市教育委員会では、これに基づき、平成20年度の事業から毎年、点検・評価を実施してきました。

今般、平成30年度の点検・評価が終了しましたので報告します。市民の皆様に、教育委員会が行っている日常の業務や課題を知っていただき、一層のご支援を賜りたいと考えています。

(2) 報告書の構成

平成27年度が目標年度であった「富津市第3次基本計画」及び「生涯学習推進計画」に代わり、「富津市教育施策」の施策指標とそれに対する到達点を3分野に分けて明示しながら、取り組みの実際と自己評価、及び学識経験者2名の評価と意見を記載しました。

また、学識経験者の評価と意見は、分野ごとにまとめていただきました。

評価A：事業の効果が現れている。

B：事業の効果が概ね現れている（一部に問題がある）。

C：事業の効果があまり現れていない（多くの問題がある）。

富津市教育委員会

平成31年3月31日現在

職 名	氏 名
教 育 長	岡 根 茂
教育長職務代理者	坂 部 充 洋
委 員	榎 本 純 子
委 員	小 坂 洋 子
委 員	池 田 亨

2. 教育委員の活動状況

(1) 定例会議等……………毎月開催、必要に応じて臨時に開催

- 4月26日 ・富津市公民館運営審議会委員の委嘱について
 - ・義務教育諸学校（市立小学校及び中学校）の教科用図書の取扱い方針を定めることについて
 - ・教科用図書君津採択地区協議会委員の選出について 等
- 5月31日 ・富津市一般会計予算教育費6月補正予算案について 等
- 6月28日 ・富津市学校給食運営委員会委員の委嘱及び任命について
 - ・富津市教育支援委員会委員及び専門調査員の委嘱について 等
- 7月26日 ・平成31年度使用教科用図書の採択について
 - ・教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
 - ・富津市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部を改正する規則の制定について 等
- 8月22日 ・富津市一般会計予算教育費9月補正予算案について
 - ・富津市小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について 等
- 9月7日 ・君津郡市広域市町村圏事務組合同規約の変更に関する意見について（臨時会）
- 9月27日 ・報告事項 等
- 10月25日 ・報告事項 等
- 11月22日 ・富津市一般会計予算教育費12月補正予算案について
 - ・富津市スポーツ・レクリエーション推進員の委嘱について
 - ・富津市都市公園、市立公園及び体育施設の指定管理者の指定について 等
- 12月20日 ・富津市教育委員会被表彰者の決定について
 - ・富津市いじめ防止基本方針の改定について（継続審議）
 - ・部活動ガイドラインの策定について
 - ・富津市学校再配置計画に係る3統合小中学校の「校章」について
 - ・いじめ重大事態の調査結果に係る報告について 等
- 1月31日 ・富津市いじめ防止基本方針の改定について 等
- 2月14日 ・富津市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について
 - ・富津市一般会計予算教育費3月補正予算案について
 - ・平成31年度富津市一般会計予算教育費当初予算案について
 - ・退職教職員に対する教育功労者の表彰について 等
- 3月28日 ・富津市退職教職員感謝状贈呈式
- 3月28日 ・平成31年度富津市学校教育の指針を定めることについて
 - ・富津市子どもの読書活動推進計画の策定について
 - ・富津市いじめ調査委員会設置要綱の制定について
 - ・富津市社会教育指導員の任命について 等

(2) 教育委員協議会……教育委員会の検討、協議の場

6月28日 ・教育委員会の点検・評価（平成29年度対象）について

・富津市小中学生夏季自習室の開放について

・富津市小・中学校再配置計画進捗状況について

8月22日 ・天羽中学校校舎改築事業進捗状況について

・ブロック塀の緊急点検の実施について

10月25日 ・富津市小・中学校再配置計画進捗状況について

(3) 総合教育会議……市長、教育委員会により構成され、大綱の策定、教育条件の整備等重点的に講ずべき施策等協議・調整を行う。 【開催なし】

富津市教育施策に係る大綱

平成28年12月22日

富津市長 高橋 恭市

富津市及び富津市教育委員会は、豊かな心を育む教育と文化の香るまちを目指し、それぞれの施策を推進します。

(4) 教育長及び教育委員の研修等

5月17日 君津地方教育委員会連絡協議会総会

5月22日 千葉県市町村教育委員会連絡協議会定期総会並びに特別講演会

講演 「道德教育の抜本的充実に向けて」

11月15日 千葉県市町村教育委員会連絡協議会第1回教育長・教育委員研修会

① 全体会（パネルディスカッション）

テーマ 「新教育課程実施上の課題及びその解決に向けた教員の資質・能力の向上について」

② 分科会 「教育の情報化推進の取り組みについて」

「主体的・対話的で深い学びを支える読書活動の充実について」

「通常の学級における子どもたちの発達の支援に向けた取り組みについて」

1月22日 千葉県市町村教育委員会連絡協議会第2回教育長・教育委員研修会

講演 「3.11を学びに変える」

(5) 学校訪問

6月26日 環小学校 経営概要説明・授業参観

6月28日 湊小学校 教育委員会定例会・施設説明

7月12日 大貫中学校 経営概要説明・授業参観

9月27日 青堀小学校 教育委員会定例会・施設説明

(6) その他

入学式・卒業式、小・中学校音楽のつどい、成人式、並びに関係団体・機関の会議等に多数参加した。

Ⅱ. 点検・評価

1. 学校教育の充実

『富津市教育施策』の施策目標と到達点

指 標 名	平成27年度	令和2年度 (目標値)	平成30年度 (到達点)
学力向上推進事業 きめ細かな指導のために配置された指導員数	外国人指導助手 (ALT) 3人	3人	3人
	自立支援指導員 4人	4人	4人
	学校適応指導相談員 2人	2人	2人
	指導補助教員 5人	7人	7人
	英語指導員 3人	6人	3人
	特別支援教育指導員 5人	8人	6人
	読書指導員 0人	3人	0人
保護者アンケートによる「子どもが確かな学力を身につけるための取組」に対する保護者の肯定的な評価の割合	平成28年度	令和2年度 (目標値)	平成30年度 (到達点)
	79.9%	90%	80%
教職員研修事業 自分の地域を肯定的にとらえられる子どもの割合	平成28年度	令和2年度 (目標値)	平成30年度 (到達点)
	84.0%	90.0%	86.7%

教職員が地域に関する理解を深め、教育の質の向上を図ることにより自分の地域の良さが回答できる子どもの割合	未実施	70.0%	92.2%
体力向上プログラムを活用した教科体育の充実 運動能力証交付率（県平均との比較）	平成27年度	令和2年度 （目標値）	平成30年度 （到達点）
	139.0%	148.0%	161.2%
体力・運動能力調査で県平均を上回った調査項目の割合	72.9%	80.0%	71.5%

(1) 教育総務課の取り組み	教育委員会の自己評価 B
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育振興基金費 ・学校施設整備事業 (13,092,732 円) ・学校教育振興費 (18,200,664 円) ・天羽中学校校舎改築事業 (272,256,444 円) 等 	<ul style="list-style-type: none"> 積立金 (31,960,612 円) 工事請負費 (6,891,480 円) 理科教育振興備品 (1,400,000 円) 教材備品 (4,438,802 円) 図書備品 (5,023,861 円)
<p>② 平成30年度の取り組みの概要と効果 (成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度末閉校する金谷小学校用地のうち所有者が特定できない土地を、不在者財産管理人を選任したうえで取得した。 ・教育振興のための寄附金 1,702,000 円を活用し、小中学校図書館の蔵書を購入し、整備した。 ・老朽化に伴う天羽中学校校舎改築事業は、既存校舎の解体工事を 12 月 5 日に完了し、校舎改築工事、機械設備工事、電気設備工事の工期を 11 月 19 日から令和元年 11 月 18 日までとし、施工中。 ・国のブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金を活用し、児童・生徒の熱中症対策として小中学校の全普通教室 141 教室に空調設備を令和元年 5 月までに設置するため、施工中。 ・6 月 18 日大阪北部地震によるブロック塀倒壊により児童が死亡した事故に伴い、市内小中学校の安全点検を行った結果、富津小学校及び青堀小学校ブロック塀の改修工事を実施した。 ・10 月 1 日台風の強風被害により、大貫小学校の渡り廊下改修工事、佐貫中学校武道場屋根修繕等を実施した。 ・上記のほか、校舎等の緊急修繕を実施した。 	
<p>③ 今後の取り組みの方向性 (改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天羽中学校校舎改築事業については、令和 2 年 1 月の供用開始を目指し、本体工事、外構工事備品購入、移転作業を実施する。 ・普通教室の空調設備については、令和元年 6 月の全校供用開始。閉校後、その設置分について既存校への移設を検討する。 ・統合中心校である湊小学校及び大貫中学校の施設整備を実施する。 ・学校施設については、富津市教育施策のとおり安全・安心な教育環境づくりに努めるとともに、「富津市学校施設整備基本計画」に基づき、施設の老朽化対策及び教育の資質向上を図るため計画的な施設整備を実施する。 	

◎教育部全体での取り組み（教育かわら版の発行）

教育委員会が日頃行っている業務等について、市民に理解して頂くために教育かわら版を平成20年度から発行しており、今年度で通刊46号を迎え、計4号を区長回覧し、併せて富津市ホームページに掲載した。7月発行の43号は、教育委員の紹介、自習室の開放、スクールバス及び移動図書館等のおススメ本の紹介等、10月発行の44号は、東京電力LNG地下式貯槽完成落書き会、交流授業、小学校入学児童検診会場の変更、指定された学校以外への就学申請等、12月発行の45号は、学校での福祉教育に関する取り組み、ノロウイルスによる食中毒予防等、2月発行の46号は、公民館での「雑誌スポンサー制度」スタート、「おざしき図書室」の紹介、就学援助制度・育英資金制度の紹介等、多種多様な内容の紹介に努めている。

財政収支改善策による経常経費削減のための検討は必要だが、今後も引き続き内容の充実に努め、発行は続けていきたい。



43号 (H30年7月発行)



44号 (H30年10月発行)



45号 (H30年12月発行)



46号 (H31年2月発行)

(2) 学校教育課の取り組み	教育委員会の自己評価 B
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私立幼稚園就園奨励事業 (46,086,700 円) ・ 要保護及び準要保護児童・生徒就学援助事業 (21,012,405 円) ・ 特別支援教育児童・生徒就学援助事業 (2,378,206 円) ・ 特別支援教育指導員 (9,839,104 円) ・ 学校給食管理運営事業 (126,870,830 円) ・ 給食材料費 (162,178,509 円) 等 	
<p>② 平成30年度の取り組みの概要と効果(成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私立幼稚園就園奨励事業 <p>市内に住所を有する補助金該当保護者の子 296 人(前年度比+8 人)が通う、市内外の私立幼稚園 7 園の設置者に補助金を交付し、幼児教育の振興を図った。</p> <p>平成 28 年度から補助額を国の限度額と同額とし、平成 29 年度から私立幼稚園就園奨励補助対象の園児に兄又は姉が 2 人以上いる世帯の多子計算に係る年齢制限を撤廃し保護者の経済的負担の軽減を図った。</p> ・ 要保護及び準要保護児童・生徒就学援助事業 <p>準要保護児童・生徒として 238 人(前年度比+25 人)を認定し、学用品費・給食費・児童への通学費補助・医療費等の援助を行った。</p> <p>国の基準額の半額であった学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費等を平成 28 年度から同額とした。</p> <p>さらに、平成 29 年度から中学校入学前支給を実施していた新入学用品費について、小学校分についても入学前支給を実施し、保護者の経済的負担の軽減を図った。</p> ・ 特別支援教育児童・生徒就学援助事業 <p>特別支援学級在籍の児童・生徒 60 人(前年度比+8 人)を認定し学用品費・給食費等の援助を行った。</p> ・ 特別支援教育指導員 <p>通常学級で過ごす特別支援を必要とする児童・生徒の支援のため、6 人の指導員を非常勤で雇用し延べ 6 校に派遣した。配置の効果は非常に大きく、学校からも増員に向けた切実な要望が寄せられている。</p> ・ その他 <p>児童・生徒の健全な育成と各種事故防止を図るため、学校と警察並びに教育委員会が学校警察連絡委員会を組織している。平成 30 年度も連携を密にし、互いに協力して指導の万全を期した。また、平成 27 年度より通学路の安全確保に向けた取り組みを関係機関(富津警察、国・県道路関係者及び市役所関係部署、PTA 代表、等)が連携して推進し、通学時における児童生徒の交通事故防止を図るため、「富津市通学路安全対策協議会」を立ち上げた。各学校から報告のあった通学路の危険箇所を、関係機関で合同点検を行い、危険箇所の改善等が行われた。</p> 	

- ・学校給食管理運営事業

共同調理場 2 箇所（大貫、天羽）及び単独校調理場（青堀小学校）の調理等業務並びに受配校への配送等業務を、民間会社に委託し継続して実施した。また、平成 29 年度に学校給食運営委員会から「すべての調理場を統合し、新規に共同調理場を建設する。」という「学校給食施設整備に向けた提言書」を受け、施設建設について中期財政計画へ掲載するなどの準備を行った。

- ・給食材料費

2 共同調理場及び 1 単独校調理場で年間 193 日以上給食を実施して、児童・生徒の心身の健全な発達と学校における食育の推進を図った。

また、給食で提供する主な食材の放射性物質検査を行い、検査した延べ 33 品目全てで放射線は「不検出」だった。

- ・小・中学校再配置計画の推進

当該学校に設置している学校再配置個別計画検討協議会において、再配置に関する課題と対応策等の協議を行った。代表部会において新しい学校の校章を決定し、PTA 部会において新しい組織等について検討し、学校教職員部会では交流事業の実施や統合で使用する備品等の確認を行った。また、スクールバス設置運行のため、保護者との意見交換会を当該地区（5 地区 6 回延べ 91 人参加）において実施した。

③ 今後の取り組みの方向性（改善策等）

- ・私立幼稚園就園奨励、要保護及び準要保護児童・生徒就学援助、特別支援教育児童・生徒就学援助事業

私立幼稚園就園奨励援助事業は、令和元年 10 月から幼児教育・保育の無償化により、新しい事業へ移行するため、円滑な実施に向け対応を図っていく。就学援助 2 事業は、市の財政負担が高まる傾向にあるが、平成 30 年度から実施している小学校入学前に就学援助入学準備金の支給など、引き続き保護者の経済的負担の軽減を図っていく。

- ・特別支援教育指導員

今後も各学校のニーズに応じた増員に向け、さらなる充実を図っていきたい。

- ・学校給食管理運営事業

「学校給食施設整備に向けた提言書」を受け、老朽化した 3 調理場を 1 箇所に統合し、学校給食衛生管理基準に定められた衛生機能の高い新共同調理場の建設に向け、早期に建設位置を決定する。また、既存の各施設が老朽化しているため、施設及び厨房機器等の維持補修のための工事、修繕等を実施していく。

- ・給食材料費

安全・安心で安定した給食の実施に向け、調理従事者研修の充実、食材の安全確保に努める。また、給食に使用する食材の地産地消を推進し、各調理場での取り組みを公表する。給食費未納者に対しては、今後も例規に基づいた対応を実施する。

- ・小・中学校再配置計画の推進

令和 2 年 4 月の再配置の円滑な実施に向け、総合調整を行うとともに、当該学校に設置している学校再配置個別計画検討協議会において、引き続き再配置に関する課題と対応策

等の協議を行っていく。スクールバスの運行業務を業者に委託するとともに、スクールバス設置運行計画を策定し、保護者に説明を行い、安心・安全な運行ができるよう努めていく。

(3) 教育センターの取り組み	教育委員会の自己評価	B
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上推進事業 (12,976,632 円) ・教職員研修推進事業 (90,672 円) ・外国語指導助手配置事業 (11,178,000 円) 等 		
<p>② 平成30年度の取り組みの概要と効果(成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上推進事業 <ul style="list-style-type: none"> 少人数指導の推進と放課後学習教室試行のため、指導補助教員7人を、小学校2校、中学校3校に配置し、授業中の個別指導や適応指導教室での学習支援を行った。個に応じた指導への各学校からのニーズは高く、今後さらに増員を目指したい。また、放課後学習教室パイロット校として、湊小学校に加え青堀小学校にも指導補助教員2名を配置し、今年度は全校児童から希望者を募り放課後学習教室を実施した。アンケート調査によると、子どもたちの学習意欲の向上や学習の場の確保についての効果が伺えた。 学力向上推進委員会を組織し、本市の学力の課題を分析した結果、「思考して書く」ことに対する意欲が少しずつ向上してきたことがわかったため、その意欲を学力向上につなげるための授業改善や読書の推進に力を入れることにした。また、「読むこと」「書くこと」の指標を定め、目標達成に向けて教務主任会とも連携し、各学校で取り組んだ。その結果、「読むこと」について、『読書が好き、どちらかというが好き』と答えた児童・生徒の割合は、小学生が86%(92%)※()内は指標の目標値、中学生が82%(88%)。児童・生徒の読書時間について、小学生で「1日16分以上読書をする児童の割合」が43%(60%)、中学生で「全く読書をしていない生徒の割合」が59.6%(50%以下)であった。「書くこと」について、「授業で黒板に書いてあることを書き写している児童・生徒の割合」は、小学生が77%(89%)、中学生が85%(93%)。『自分の考えを書きなさい』と発問されたときに自分の考えをまとめて書くことができる児童・生徒の割合」について、小学生が78%(81%)、中学生が73%(79%)であった。 生徒指導・教育相談体制として、自立支援指導員4人を小・中7校に、適応指導相談員2人を適応指導教室に配置した。県から派遣されたスクールカウンセラーは、中学校5校小学校3校に配置し、延べ1,601件(昨年度1,569件・32件の増)の相談活動を行った。長期欠席者が引き続き減少傾向にあるので、継続して原因に応じた対応に取り組んでいきたい。精神科の専門医による相談は、7件(昨年度13件)、教育センターへの電話及び来所による相談は18件(昨年度14件)であった。10月から「いじめ相談メール」も開設し、相談の窓口を広げる手だても講じた。 情報教育推進の一環として、令和2年度から小学校で導入される「プログラミング教育」についての研修を、コンピュータ主任会議や夏季研修講座で実施した。また、学習用ソフトの活用に関する研修も実施し、コンピュータ活用率の向上も図った。 		

体力・運動能力の向上については、運動能力証交付率は目標を上回る成果をあげることができたが、体力・運動能力調査では、依然として小・中学校共に握力の数値が県平均を下回る学年が多かったことが課題である。

・教職員研修推進事業

夏季教職員研修会は、教科指導や特別支援教育、生徒指導やPC研修等を含めて10講座開催。今年度も、自身の課題に基づく希望参加を継続した。教職員一人平均1回以上参加の意識も高まり、延べ242人の自主的な参加があった。また、キャリア教育の一環として、新富工場協議会の協力を得て、新富地区の工場見学も初めて実施した。

階層別研修としては、新規採用教職員研修、指導補助教員等研修、生徒指導担当者研修、特別支援教育コーディネーター研修、管理運営研修（教頭・教務主任対象）等を実施した。また、若年層教員の育成に尽力してもらうため中堅層職員研修を実施し、今年度も千葉県総合教育センターの職員を講師に迎え、グループワークでの課題解決型研修を行った。

指導補助教員等の研修では、若手からベテラン層までの講師が参加し、特別な支援を要する児童生徒への指導法を学んだり、情報交換を行ったりした。

また、指導主事・教科指導員・食育指導員等が学校からの要請を受け、延べ105回（昨年度106回）、指導案作成への助言や校内授業研修会等の講師としての役割を担ったり、小・中学校児童生徒に対して食育指導を実施したりした。

・外国語指導助手配置事業

今年度も3人のALTを雇用し、全小・中学校において活用できるように配置した。派遣契約のため、各校での打合せや担任との連携が充実した。更に小学校の外国語・外国語活動には3人の英語指導員の雇用を継続し、ALTとともに学級担任の指導を補助した。

③ 今後の取り組みの方向性（改善策等）

教職員研修推進については、新学習指導要領の完全実施を視野に入れて、今後とも教育現場のニーズや今日的な課題に応じた研修の実施に努めるとともに、研修内容の更なる充実を図っていききたい。

学力向上推進事業では、各種学力調査の結果を分析し、学力向上推進委員会において、課題への対応を継続する。特に、「読むこと」「書くこと」の指標の達成に向け、「読むこと」（読書好きの子どもを育てる）、「書くこと」（記述に強い子どもを育てる）への取組を充実させたい。また総合戦略にあるきめ細かな教育の充実や地域の良さの実感に向け、保護者・児童・生徒へのアンケートを実施し、家庭（地域）・学校・教育委員会の連携を図りながら、目標達成を目指す。

いじめ相談メールについては、まだ1件も相談メールが届いていない現状があるため、周知の方法について再度検討し改善を図っていききたい。

運動能力証交付率については、目標を大きく上回る成果をあげているが、部活動ガイドラインが策定され、今後、児童生徒の運動量が減少することが考えられるため、目標値はそのまま据え置くこととした。

外国語教育については、令和2年度の小学校外国語活動の教科化を見据え、教職員研修

の充実や英語指導員の配置など、完全実施に向けての準備を行う。

情報教育の推進としては、小学校では、プログラミング教育の研修を実施するとともにタブレットパソコンをより効果的に活用できるよう、中学校では学習コンテンツを授業で活用できるよう支援していく。

今後も、教育センター職員がきめ細かな学校訪問を心がけ、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、特別支援教育、生徒指導、教育相談といった側面からも引き続き支援をしていく。

外部評価者（Ⅰ）の評価 B

意見

経営改革を推し進めているなか、教育委員会としても数多くの課題を抱える状況下で、大変厳しい予算、人員で苦慮しながら各方面の事業を進めているものと推察します。富津市教育施策の目標達成に向け努力されていることと思いますが、目標値に対する到達度ではB評価としているものの、大変厳しい状況下での事業推進ということを考慮すると、A評価にも値するものと思慮いたします。市長、教育委員会による総合教育会議制度も4年を経過し、富津市教育施策に係る大綱に沿い、市長とより一層の意志疎通を図り予算の確保等に繋げていただきたいと思います。

まず、教育総務課ですが、老朽化した学校施設の維持管理、天羽中学校校舎の改築事業に加え、教室の空調設備整備、倒壊の恐れのあるブロック塀の改修工事など児童生徒の学習環境改善や安全対策の迅速な実施を評価いたします。また、各学校の用地処理を進めていると思いますが、特に再配置後に閉校となる学校においては、跡地利用にも関わってくると思いますので、速やかな処理を進めていただきたいと思います。

学校教育課では、私立幼稚園就園奨励事業や要保護及び準要保護児童・生徒就学援助事業で年々運用面等の見直しを行い、保護者の経済的負担の軽減等を図っており評価いたします。小中学校の再配置は多くの課題があったなか着々と進んでおり、これまでの担当者や関係者の皆様の苦勞と努力が伺えます。より良い形での統合ができるよう引き続き慎重に進めていただきたいと思います。また、新共同調理場建設に向けては関係部局等と調整を図り、早期実施に向け進めていただきたいと思います。

教育センターでは、放課後学習教室パイロット校に青堀小学校を加え湊小学校と2校での実施となりました。4年目を迎える教育長の教育方針のもと、子どもたちの更なる学習意欲向上に向け学校訪問などを通して各学校の先生方ときめ細かな支援をお願いいたします。

外部評価者（Ⅱ）の評価 B

意見

学校教育における最大の教育環境は「信頼される教師」であります。昨今の社会背景からか教師を志望する人が少なくなり、その質が問われていることを耳にします。丁寧な初任者研修制度があるそうですが、小学校外国語活動の教科化、プログラミング教育等の実施が導入され、さらに学業的能力を求められ研修等が実施されています。しかし、学歴の優秀さが職業的優秀さに結びつかないことが他の職業においても問われています。職業的能力（直感的判断力・知恵の習得力）や社会人としての信頼性の欠如している教職員へは、特にそれらを意識させる手だて・研修も充実したい。

「富津市小中学校再配置計画」「富津市学校施設整備基本計画」を財政難のなかで着実に実施に至ることに教育委員会事務局等のご苦勞に敬意を表します。また、危険ブロック塀改

修工事、及び国の特例交付金を活用し、空調設備（全普通教室 141 に冷房設備）施工を早々に実施されたことは行政の機敏さを示していました。

教育かわら版は紙面の写真を入れてのレイアウト、内容もわかりやすく教育委員会との親近感を感じると好評な意見を耳にしました。財政難のおり経費削減対象になりやすいと思いますが、発行を続けてほしいです。

2. 生涯学習の充実、青少年健全育成の推進、文化・芸術活動の推進、文化財の保護と活用

『富津市教育施策』の施策目標と到達点

指 標 名	平成27年度	令和2年度 (目標値)	平成30年度 (到達点)
人材バンク「まちの先生」の利用件数	45件	90件	62件
図書利用冊数	25,260冊	26,000冊	31,416冊
青少年相談員連絡協議会事業の参加者数	943人	1,000人	1,075人
子ども会育成連絡協議会事業の参加者数	263人	300人	290人
指定・登録文化財の件数	85件	87件	85件
史跡見学会・講演会参加者数	754人	850人	466人
市民文化祭参観者数	17,469人	18,000人	14,271人
公民館・市民会館利用者数	100,049人	110,000人	96,475人
埋立記念館入館者数	1,445人	2,000人	2,425人

(4) 生涯学習課の取り組み	教育委員会の自己評価	B
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員関係費 (380,700 円) ・生涯学習推進事業 (70,808 円) ・生涯学習バス設置事業 (4,311,093 円) ・図書館費 (含：移動図書館事業) (4,980,302 円) ・子ども会活動事業 (340,000 円) ・青少年相談員活動事業 (937,610 円) ・市内遺跡発掘調査事業 (2,153,709 円) ・民間開発発掘調査事業 (1,342,571 円) ・史跡案内板・説明板設置事業 (364,500 円) ・高岩山のサル被害防止事業 (2,460,000 円) 等 		
<p>② 平成30年度の取り組みの概要と効果 (成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進事業 <p>事業としては生涯学習情報提供誌の発行のみとなったが、まちの先生や出前講座などの学習支援の活用を引き続き促しながら、生涯学習の推進を図りたい。社会教育委員会議では数年来の懸案であった「富津市子ども読書活動推進計画」を立案し、年度末に策定された。また、相談窓口対応を兼ね昨年度から本庁勤務となった家庭教育指導員の企画運営による「放課後ルーム」を開設した。大貫小学校の児童を対象に中央公民館で週1回・金曜日に実施。</p> ・生涯学習バス設置事業 <p>平成28年度中に、老朽化した2台を処分し、更新した1台体制となった。管理運行業務委託内容の見直しにより、2台体制時より多い稼働を可能にしたものの運行回数は減少した(229回→203回→201回)。定員が増えたこともあり、利用者数は平成29年度に一旦増加したが、平成30年度は戻っている(5,865人→6,049人→5,871人)。利用者アンケートでは、感想としては「よかった」が95%を占めたが、複数台のバスの設置や設備の充実を求める声が見られた。</p> ・図書館費・移動図書館事業 <p>年間利用冊数は平成21年度(34,359冊)をピークに減少傾向にあったが、平成28年度はじめて微増に転じた(前年度比+38冊)のに続き、平成29年度は目標値を超える28,382冊(+3,084冊)、平成30年度は更に31,416冊(+3,034冊)となった。職場体験者や市民ボランティアの協力を得て図書室等を整理し、環境が改善され利用者が増えた(8,237人→9,900人→10,875人)。</p> <p>環境整備の一環として前年度からはじめた大規模な図書の除籍を引き続き実施(10,326冊)。「図書リサイクル会」(中央公民館9/1・2、3/23・24)には633人が訪れ、3,426冊が市民の手に渡り、残る2,890kgを古紙として処分した。</p> ・子ども会活動事業 <p>各種の子ども会行事をはじめ、ジュニアリーダー研修会・育成者講習会が実施され、子ども</p> 		

も会活動及び組織の充実が図られた。

・青少年相談員活動事業

青少年のつどい大会、文化祭の協力（なんでもヤリーナ20分・模擬店）、新年子ども大会、キャンプ大会等が実施され、青少年健全育成活動が推進された。

・市内遺跡発掘調査事業

飯野陣屋三の丸跡、飛附遺跡の計2か所の発掘調査を実施するとともに、平成28・29年度に調査した計6遺跡の整理作業を行い、発掘調査報告書を刊行した。

・民間開発発掘調査事業

株式会社小島建設宅地造成事業に先立ち、打越遺跡の確認調査を実施した。

・その他文化財関係事業

文化財周知板設置事業では木造阿弥陀如来坐像（福恩寺）、佐貫城跡への新設と、吾妻神社馬だし祭りの県文化財への上位指定に伴う付け替えを行った。

高宕山サル被害防止事業では、老朽化した電気柵の改修、発信器の装着、事業対象である高宕山周辺、特に指定地域及び要現状変更地域内に生息するニホンザル個体群を対象に行動域の調査、指定地域の生息環境調査を行った。

内裏塚古墳群など市内の史跡見学会や出前講座・講演会などへの参加者は466人（前年度比-216人）であった。

③ 今後の取り組みの方向性（改善策等）

生涯学習推進事業については、情報提供誌の発行や「まちの先生」事業を中心として継続する。市単独での推進大会は開催しないが、君津地方4市での推進大会への積極的な参加を促す。公共施設の再配置の検討をめぐり、社会教育施設の整備について、社会教育委員会議で早急に方針を提示する必要がある。令和元年度から家庭教育指導員を軸とした「家庭教育支援チーム」を設定し、家庭教育支援員を配置して、「放課後ルーム」を2か所（富津小・環小）増設する。今後は更に社会教育指導員や市民の協力のもと、地域・家庭・学校がゆるやかに連携した「活動の場所」や「居場所づくり」を模索したい。

図書の管理については、令和元年度中に図書管理システムを導入し、利用者自身が端末から蔵書検索やリクエストができるようなサービスを目指す。システム導入までに蔵書の整理を更に進めるとともに、ひきつづき快適な読書のための空間づくりに取り組む。

各種開発から埋蔵文化財を守り、場合によっては発掘調査による記録保存の策を講じるなど保存に努める。

市内の文化財周知板の整備を進め、老朽化に伴う更新のほか、指定物件以外でも重要性の高いものについては、民間からの協力も得て説明板の設置に努める。

史跡等公有地化整備事業として、引き続き内裏塚古墳単体の公有地化を進めるとともに、内裏塚古墳群全体としての整備構想を検討する。

「鋸山」の国名勝指定や日本遺産認定を目指し、鋸南町と共同しながら取り組んでいく。

その他文化財関係事業として、市の歴史や文化財に関して市のホームページの充実を図るなど広報活動に努める。また、高宕山のサル被害防止事業では、発信機の装着個体を増やし、

指定地周辺の群数や頭数を明らかにし、管理計画の策定に向けて君津市と共同で検討していくとともに、外来種であるアカゲザルとの交雑問題についても取り組んでいく。

<p>(5) 公民館等の取り組み ア 中央公民館</p>	<p>教育委員会の自己評価 B</p>
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館管理運営事業 (18,859,828円) ・中央公民館学級・講座関係活動事業 (639,189円) ・市民文化祭事業 (746,881円) 	
<p>② 平成30年度の取り組みの概要と効果 (成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民文化祭事業 <p>富津市民文化祭実行委員会の企画・運営により市民自ら積極的に運営し実施した。生涯学習活動の成果を発表し、親睦と融和を図り、豊かな文化の向上と創造の心を養う文化祭となるよう努めた。</p> <p>11月2日から11月4日まで総合社会体育館・富津公民館・中央公民館・市民会館の4会場で実施し、1,747人(前年度比+67人)の出展者で2,940点(前年度比+60点)の作品、出演者1,642人(前年度比+40人)、参観者延人数は、14,271人(前年度比-4,003人)であった。文化祭は、日頃の活動成果の発表や披露、さまざまな芸術作品の鑑賞などができる貴重な場となっているものの、生涯学習を活動する主たる年代の高齢化が進んでおり、参加者が限られてくる傾向にある。(旧市役所第二庁舎解体工事により市民会館の芸能祭が中止となったため、その影響で参観者延人数が減じた。)</p> ・学級・講座事業 <p>対象別(青少年・婦人・成人・高齢者等)や課題別(歴史文化・工芸・健康等)の13の学級・講座(前年度比-2)を開設した。市民に幅広く学ぶ機会を提供することにより、人づくりや地域づくりを推進した。</p> <p>学級・講座全体の開催回数は、106回(前年度比-23回)、参加延人数は1,481人(前年度比-419人)であった。</p> ・施設整備 <p>主に2階和室畳張り替え工事や、正面玄関ガラス交換工事などを実施し、施設の管理運営に支障をきたすことのないように努めた。</p> 	
<p>③ 今後の取り組みの方向性 (改善策等)</p> <p>市民文化祭事業は、事業実施後に実行委員会が反省会を行っている。この内容を次年度に生かし、より充実した市民文化祭となるよう取り組んでいく。</p> <p>学級・講座事業は、市民の生活課題や地域社会の共通課題を把握するとともに、多様化している市民のニーズに対応した学級・講座を開設し、学校や地域の各種団体等と連携するなど、誰もが参加しやすい環境づくりを図る。</p> <p>中央公民館は、築後46年が経過し、老朽化に伴い改修の必要な箇所が増加してきている状況である。財政状況を踏まえつつ計画的な施設整備に努めたい。</p>	

No.	講座の名称	開催回数	参加延人員	講座の主旨と内容
1	シルバー生きがい学級	7	142	高齢者がいきいきと生活できるように、健康についての講義、軽スポーツ・レクリエーションや実習、社会見学等を交えながら学習していく。
2	さわやか女性セミナー	5	134	暮らしに役立つ課題や社会情勢などについて、見学、講義、実践を行いながら学習する。
3	折り紙教室	9	88	伝承折り紙から創作折り紙まで、アートとしても楽しめる折り紙の作品づくりを学ぶ。
4	はつらつウォーキング教室	8	121	ウォーキングのコツ、注意点及び効果などを学び、正しく美しく快適に歩くことにより、心身の健康増進をはかる。
5	富津フォトハイスクール	6	64	一眼レフカメラで実際に風景などを撮りながら撮影技術を学びます。(初心者の方にも丁寧に指導します)
6	外国人のための日本語講座	24	308	在日外国人が日本で生活するうえで言葉の壁を少しでも減らし、地域のひととのコミュニケーションがとれるようにする。
7	大人のためのわらべ歌教室	4	48	昔から歌い継がれてきたわらべ歌について理解を深め、その楽しさを子ども達に伝えていくための、取り組みを支援する。
8	いきいき健康体操教室	8	127	自分の体の状態と弱点を知り、身の周りにある用具を使って、弱点を克服する体操を学んだり、グラウンドゴルフ・レクゲームを行ったりして心身の健康増進を図る。
9	こども折り紙教室	4	159	親から子へ、子から孫へと受け継がれてきた日本の伝統工芸折り紙を楽しむ。
10	男の悠遊教室	8	70	男性を対象に日常的に習慣化出来る体操の習得、料理・園芸などの体験、健康等をテーマにした講演を取り入れ、心身の健康増進を図る。
11	キッズダンス教室	11	84	リズムに乗って体を動かし、ダンスの基礎、表現する楽しさを学ぶ。また、ダンスを通じての仲間作りと異年齢の交流を図る。
12	キルト教室	5	29	生活の中で不要となった布を「より華やかに、品良く、用・即・美」をコンセプトに創作して、リサイクルの推進を図る。
13	I C T教室	7	107	昨今の急速な ICT の発展によって、生活が大きく変化をしている中で、AI やロボットなどの ICT がこれからの社会や生活にどのような影響を与えるのかを考える。
	合計	106	1,481	

イ 富津公民館・埋立記念館	教育委員会の自己評価 B
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 富津公民館管理運営事業 (22, 576, 361円) ・ 成人式事業 (647, 960円) ・ 富津公民館学級・講座関係活動事業 (519, 189円) ・ 埋立記念館管理運営費 (2, 305, 760円) 等 	
<p>② 平成30年度の取り組みの概要と効果 (成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成人式事業 <p>新成人を祝って、平成31年1月13日に開催し、新成人代表の実行委員会企画運営による式典を行った。新成人記念行事として「新成人一問一答」を実施し、後日中学3年生時に本人が書いた「二十歳への手紙」を、当日の集合写真と共に郵送した。式典不参加者にも手紙を郵送した。</p> <p>今年の新成人該当者は437人で、内322人が式典に出席し、出席率は73.7%であった。</p> ・ 学級・講座事業 <p>対象別 (親子・成人・高齢者等) や、課題別 (歴史文化・手工芸・園芸・健康等) の17の学級・講座 (前年度比+2) を開設した。今年度は、新たに「アロマ・ハーブ教室」と「絵本読み聞かせボランティア入門講座」を行い、全開催回数は120回 (前年度比-11)、学級・講座全体の参加延べ人数は2,277人 (前年度比+11人) であった。</p> ・ 施設整備 <p>富津公民館では、駐車場区画線設置工事修繕を行い、また冷暖房設備の空調機改修工事設計業務委託を実施し管理運営に支障をきたすことのないように努めた。</p> 	
<p>③ 今後の取り組みの方向性 (改善策等)</p> <p>平成31年富津市成人式では、新成人代表による実行委員会が「自らが作る成人式」として式典の企画運営を担い実施した。今後の成人式も実行委員会での実施を継続していく。</p> <p>富津公民館は、築後35年が経過し、老朽化による設備故障等の発生頻度が年々高まる傾向にあるが、館の運営や事業に支障をきたすことのないよう、平成29年度は冷暖房設備の吸収式冷温水発生機交換工事を実施し、令和元年度に空調機改修工事を実施する。</p> <p>埋立記念館は、平成27年度から、入館料の無料化と平日の無人化を実施することとなったが、今後も入館者数の増加に向け、広報等に努める。</p> <p>学級・講座事業については、今後も事業内容や学習手法等を十分検討し、利用者や各種団体等と連携して、誰もがより参加しやすい環境づくりを進め、市民の学習意欲の向上と地域文化の発展に努める。</p>	

	講座の名称	開催回数	参加延人員	講座の主旨と内容
1	高齢者教室	8	321	年齢を重ねても健康で充実した生活を送るため、幅広い知識や教養、健康増進法などについて学ぶ。
2	園芸教室	9	321	花や樹木の手入れ、管理方法から、草花の種からの育て方、鉢の寄せ植え、樹木の移植、用土作り、害虫の駆除などの園芸技術を学習する。
3	男の料理教室	7	96	手軽に作れる日常の惣菜など、初歩的な調理技術と酒の肴など、男性ならではの実践的な料理づくりを学ぶ。
4	東京湾学講座	14	400	富津岬を中心に東京湾岸の歴史や文化、自然などについて、幅広い知識を学び、また、探査会を実施し学習していく。
5	健康スクール教室	8	93	自分でできる運動を中心に、日常的に体を動かす楽しさを学ぶ。
6	わらべ歌遊びと共育ち教室	8	240	子育ての中に、わらべ歌遊びを豊かに取り入れ、親子のふれあいを深める。
7	韓国語教室	8	69	日本の隣国である韓国の言語と日常会話を学び、韓国の伝統文化についても、併せて学習する。
8	はじめての紙バンド手芸教室	8	90	古紙から再生される環境に優しい紙バンドを使い、趣味のバッグや小物等の実用品からアートまで幅広い作品を作る。
9	大人チャレンジ教室	1	18	日常生活の中では、なかなか体験できない伝統文化・技術などにチャレンジする。
10	エコパッチワーク教室	8	121	エコ、リメイクの意識を高めるため、古着の布と新しい布を組み合わせて使用し、パッチワークを学ぶ。
11	陶芸教室	9	103	お皿や小鉢など、世界にひとつだけの「わたしの器」作りを楽しむ。
12	古文書を読む会	10	165	市内に伝わる古文書から、歴史について学ぶ。
13	ポールウォーキング教室	6	81	足腰の弱い方でもポールを使った負担の少ないウォーキング方法を学び、肥満や運動不足からくる生活習慣病の予防、ストレスの解消を図る。
14	折り紙教室	8	85	指先を使うことにより脳の活性化を図るとともに、多様な紙を用いて、季節の飾りや折り紙の作品を行う。
15	FIRA 英会話サークル	2	3	国際交流の表現手段としての英会話を「NHKラジオ英会話」を教材として学ぶ。(国際交流協会主催)
16	アロマ・ハーブ教室	2	41	アロマセラピー、ハーブの有用さを知ってもらい、ホリスティックという視点で日々の生活で活用できる基礎を学ぶ。
17	絵本読み聞かせボランティア入門講座	4	30	絵本の読み聞かせボランティア体験を通じて、読み聞かせの楽しさやボランティアの喜びを学ぶ。
	合計	120	2,277	

ウ 市民会館・峰上地区公民館	教育委員会の自己評価 B
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民会館管理運営事業（164,935,663円） ・市民会館学級・講座関係活動事業（405,906円） ・峰上地区公民館管理運営事業（1,109,673円） 	
<p>② 平成30年度の取り組みの概要と効果（成果・課題等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級・講座事業 対象別（青少年・成人・高齢者等）や課題別（教養・歴史文化・健康等）に18の主催学級・講座等（前年度比-1）を開設し、市民に幅広く学ぶ機会を提供し、講座を通じての人づくりや地域づくりに寄与した。今年度は、新たに「プリザーブドフラワー教室」を行い、開催回数131回（前年度比-9回）、参加延べ人数2,607人（前年度比-53人）。 ・施設整備 市民会館では、冷温水循環ポンプ（FCU用）付属配管取替修繕・浄化槽水中ポンプ交換・調理室ダクト用換気扇取替修繕等の修繕を実施した。 また、旧市役所第二庁舎解体工事を実施し、解体後の跡地については市民会館の駐車場として活用した。 	
<p>③ 今後の取り組みの方向性（改善策等）</p> <p>主催事業である学級・講座が、常にフレッシュな内容であるよう努め、参加者や各種団体等と連携して、新しい年代層や受講者の増加に努める。</p> <p>また、自立が見込める教室・講座は、サークルとして活動を広げていけるよう促すとともに、地域の人材を活用した新たな教室・講座の開設に努め、人づくりや地域作りの拠点として事業を展開していきたい。</p> <p>市民会館は、築後29年が経過し、老朽化が進んでいる。市民が快適かつ安全、安心、便利に利用できるよう、財政状況を踏まえつつ、計画的な施設整備に努めたい。</p> <p>峰上地区公民館については、築後55年経過している上、木造であるため施設整備等に対する保守点検を徹底し、安全性の確保及び管理運営に支障をきたすことのないよう努めたい。</p>	

No.	講座の名称	開催回数	参加延人員	講座の主旨と内容
1	歴史探訪講座	8	211	地域の歴史を文化・自然・人物・史跡などから再発見、学習する。
2	Futtsu One World Club	7	39	国際化する社会の中で、料理や伝統文化を通して外国の文化について学ぶ。
3	こどもダンス教室	12	282	リズム感を養いながら音楽に合わせて体を動かし、ヒップホップダンスの基礎を学ぶ。
4	ディスカバーふつつ	4	71	「ふつつ」の良さ、すごさを再発見するための体験講座。毎回15キロ程度歩く。
5	エコ・スクール	7	159	自然環境・動植物の環境から、ゴミ・リサイクル等の学習や現地視察を行い、幅広く学ぶ。
6	シルバー生きがい学級	9	132	高齢化が進む中、レクリエーションや学習をとおし参加者がふれあえる場を作り、仲間づくりをする。
7	和菓子教室	7	139	日本古来から伝わる和菓子作りを基礎から学ぶ。
8	季節の草木染め講座	4	78	四季の中で育った草木を使い、染め物の染料とすることを考えた先人の知恵「草木染め」を学ぶ。
9	シニアのためのスマートフォン講座	1	16	スマートフォンを気軽に利用できるようにし、生活における利便性を拡大する。(シニア向け)
10	コーヒー講座	2	20	体に良いコーヒーの入れ方や、お菓子に合うコーヒーの選び方等、日常に使えるコーヒーの講座。
11	小筆教室	3	36	住所や名前など、生活に役立つ自分が習いたい文字を習う。
12	健康料理教室	5	57	季節の食材を使い、主菜・副菜・デザートなどの料理を学ぶ。
13	はじめてのソーパークーピング	6	51	タイ王宮の伝統工芸であるソーパークーピングを基礎から学ぶ。
14	ポールウォーキング教室	6	67	足腰の弱い方でもポールを使い手軽にウォーキングやストレッチをしながら全身運動をする。
15	プリザーブドフラワー教室	5	102	生花に特殊加工施し、風合い、みずみずしさソフトな感覚を長時間保つことができるプリザーブドフラワー。初心者の方でも楽しみながら様々なアレンジを学ぶ。
16	お話し会	21	565	幼児を対象としたお話し会を開催し、親子がふれあうとともに同世代の親子が知り合う場の提供、図書室の利用促進を図る。
17	お話し会ボランティア会議	12	126	お話し会を運営するボランティアによる会議。
18	名画座	12	456	ホールにて視聴覚教材を用いた映写会を開催し、市民が手軽に名画を鑑賞するとともにホールの活用を図る。
	合計	131	2,607	

外部評価者（Ⅰ）の評価 B

意見

生涯学習課、各館ともに主に社会教育という広範囲な教育を担っているわけですが、厳しい財政状況のなか、事業の実施や施設管理等予算確保などに苦慮されていると推察いたします。

まず、生涯学習課ですが、富津市子ども読書活動推進計画の策定や放課後ルームの開設など、新たに取り組まれたことは評価いたします。また、各館における図書室等の利用環境の整備に取り組まれたことで利用者が増となり、限られた予算、人員のなか色々と創意工夫された担当者の努力が伺えます。今後も色々なアイデアを取り入れ、移動図書館といった特殊性などをいかした利用環境の整備をお願いいたします。文化財については、大阪の仁徳天皇陵古墳を含む古墳群が新に世界遺産に登録されました。富津市においても、南関東最大の内裏塚古墳を含む古墳群の整備構想を、今後進めていただきたいと思います。

公民館等ですが、各館とも老朽化が進んでおり、維持管理に苦慮されていることと思います。空調設備などの故障等により行事等に支障を来たさないよう計画的な施設整備をお願いいたします。また、富津公民館では駐車場の区画線整備が行われました。市民会館の旧第二庁舎跡地の駐車場についても、利用度の高い施設ですので、維持管理の面からもアスファルト舗装の検討をお願いいたします。各事業では、成人式が新成人代表の実行委員が企画・運営を行うという新しい取り組みになっています。文化祭事業や学級・講座事業についても新しい試みを期待します。

外部評価者（Ⅱ）の評価 B

意見

各公民館は、地域、コミュニティの拠り所として、そして生涯学習のまさに地域の拠点となる所としてその役割は重要であります。人口減少の傾向と高齢化、施設設備の老朽化等で多くの施策事業の利用者・参加者を増加させることは容易でないと思います。そのような状況で事業内容・運営方法の改善や施設の管理運営に支障がないように努力が行われています。今後はさらに「子育て世代の学び」や「夏季休業中における子ども達の学び」など青少年相談員活動や子ども会活動と連携する活動も期待したい。なお、各公民館だよりはコンパクトでカットなどにも工夫がされ、年々わかりやすくなってきたという声を多く聞きます。

図書館・移動図書館事業においては、年々、様々な改善や市民ボランティアの協力などにより図書室等の環境改善、また、大規模な図書の除籍が今年度も行われ整備が一段と進み利用冊数の増加につながったことだと推察し高く評価したいです。立派な大きな図書館もあればよいのですが、富津市の地理的広域性や人口の分布、交通手段の利便性等を勘案すると移動図書館、公民館、市民会館の図書室の整備を今後とも充実しその有効性を追及することを期待します。

子供会活動事業や青少年相談事業は小中学校の統廃合、少子化、その社会背景の中で従来の目的等にいつまでも縛られないようにしていかなければならない。推進役員の方々のご苦勞だけが増すものと察します。教育行政がリードして地域の実情に沿って従来の組織の統廃合を含

めた大きな見直し等も必要と思います。また、先に記しましたが、公民館との連携も必要だと思います。

サルとイノシシ被害は、“田舎暮らし”を切望する方々ならびに居住している住民にとっては、大問題であります。自然豊かで都心へのアクセスも良くなってきて富津市としては、移住者等を増やすためにもその問題を少しでも解消していくことが必要であります。生息環境調査等も必要ですが、駆除という実力対策をさらに増強するよう市の施策、アピールになるよう期待します。

3. スポーツ・レクリエーションの振興

『富津市教育施策』の施策目標と到達点

指 標 名	平成27年度	令和2年度 (目標値)	平成30年度 (到達点)
スポーツ関連の行事参加者数	15,603人	16,000人	13,730人
総合型地域スポーツクラブの数	1か所 〈平成22年度〉	2か所	1か所

ふれあいスポーツフェスタ 2018



<p>(6) 生涯学習課の取り組み スポーツ振興係</p>	<p>教育委員会の自己評価 B</p>
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会体育振興事業 (3,358,803 円) ・ふれあいスポーツフェスタ事業 (728,294 円) ・市体育施設管理運営事業 (34,906,086 円) ・スポーツレクリエーション推進事業 (242,540 円) 	
<p>② 平成30年度の取り組みの概要と効果 (成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会体育振興事業 <ul style="list-style-type: none"> 市民がスポーツに親しみ、健康づくり・体力づくりをする中で、豊かな生活が営まれるように各種スポーツイベント等を実施。また、スポーツ推進委員及びスポーツ・レクリエーション推進員と連携して、誰でも気軽に参加できるニュースポーツの普及に努めた。 富津市長杯争奪少年野球大会 87 人 (前年度比:0 人) 富津市教育長杯争奪少年サッカー大会 120 人 (0 人) 第36回F T S少年剣道大会 350 人 (-45 人) 「県民の日」記念第34回グラウンドゴルフ大会 78 人 (-15 人) 「県民の日」記念第34回バドミントン大会 248 人 (-22 人) 第25回F T S杯争奪少年柔道大会 144 人 (+23 人) 第36回F T S杯争奪少年野球大会 96 人 (0 人) 第24回健康ウォークラリー大会 63 人 (+9 人) 君津地区スポーツレクリエーション祭歩け歩け大会 353 人 (-5 人) 第37回F T S杯争奪インディアカ大会 18 人 (+2 人) 第27回F T S杯争奪ソフトバレーボール大会 53 人 (+13 人) 第23回F T S杯争奪グラウンドゴルフ大会 55 人 (-1 人) 君津地区スポーツレクリエーション祭 (インディアカ・ソフトバレー・グラウンドゴルフ) 53 人 (-11 人) 富津市教育長杯争奪少年野球新人大会 79 人 (-8 人) 第7回ふれあいドッジビー大会 40 人 (昨年中止) 第43回ママさんバレーボール大会 84 人 (-14 人) 第36回市民ハイキング 71 人 (昨年中止) 第49回元旦歩こう大会 344 人 (-6 人) 第48回新春バドミントン大会 263 人 (-10 人) 第31回新春グラウンドゴルフ大会 85 人 (-11 人) スポーツ教室 (毎週土曜日) 4,728 人 (-347 人) ・ふれあいスポーツフェスタ事業 <ul style="list-style-type: none"> 市民の手づくりによる健康づくり、体力づくりを目的に多くの市民がスポーツに親しめるよう、体力測定やロコモ対策健康体操を実施。その他、市スキー協会によるスキーやポールウォーキングの普及やなぎなたのPRを実施。また、健康づくり課等も参加し骨密度・体脂肪測定も行うなど、健康を意識した大会とした。 2,287 人 (-2 人) 	

・市体育施設管理運営事業

公益財団法人富津市施設利用振興公社を指定管理者として管理運営を実施し、市民サービスの向上を図った。

総合社会体育館	主体育館	644件	57,401人	(+25件 +294人)
	小体育館	1,157件	9,794人	(+216件 +872人)
	会議室等	46件	371人	(-13件 -472人)
富津運動広場		77件	1,487人	(-6件 -146人)
新富運動広場		121件	16,363人	(+22件 +3,914人)
浅間山運動公園	テニス等	934件	5,316人	(-22件 -202人)
	フットサル	25件	311人	(平成30年開始)
	野球	112件	4,523人	(+6件 +444人)

・小中学校体育施設開放事業

75団体 8,832日 174,042人(延数) (-6団体 +11日 +761人)

・第41回千葉県民マラソン大会

市民等の心身の健全な発達とスポーツ振興、富津市の名産品などの紹介や販売を行うことによる観光振興に寄与することを目的として、千葉日報社と協力して千葉県民マラソン大会を実施。地元住民による沿道応援や市内からのボランティア参加。また、会場での各種イベントなども合わせて行うことで大会の活性化が図られた。

エントリー 4,023人 (-64人) 完走数 2,847人 (-575人)

③ 今後の取り組みの方向性(改善策等)

・社会体育振興事業

スポーツ推進委員やスポーツ・レクリエーション推進員と連携を図り、各種スポーツイベント等の参加者が増加するよう検討する。また、身近な地域で生涯にわたってスポーツに親しめるよう総合型地域スポーツクラブの充実を図る。

・ふれあいスポーツフェスタ事業

実行委員会を早期に開催し、関係団体との協議、準備を進め内容の検討を図っていく。

・市体育施設管理運営事業

施設の老朽化に伴い各施設ともに大規模な改修等が必要となっていることから、計画的に補修を進めていく必要がある。旧社会体育館については、令和元年度に解体する予定である。

・千葉県民マラソン大会

大会終了後に行われている運営委員会での反省点、参加者からの意見を活かし、当初の目標であるスポーツ振興・観光振興をより充実させた大会を目指し準備・開催をする。

外部評価者（Ⅰ）の評価 B

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催も来年となり、チケット販売も開始されたことでスポーツ熱もどんどん高まってきています。そのような中、各種スポーツ行事においては、打合せも含め、開催日が休日や夜間にもかかわらず、スポーツ振興係の職員はもとよりスポーツ推進委員やスポーツ・レクリエーション推進員、各種スポーツ団体の皆様のご協力を頂き実施されていることに深く感謝と敬意を表します。

現在、少子高齢化が進み年々高齢者が増加しているなか、健康寿命の大切さをよく耳にします。軽いスポーツ、運動を通じ市民の健康寿命を延ばすためにも関係者の皆様のご協力を頂き更なる展開を期待いたします。

千葉県民マラソンも富津市での開催が12回目となり、皆様にほぼ定着して来たと思われまます。アップダウンの少ないフラットなコースは好タイムも期待できるということから、ランナーの皆様にも人気の大会であり、また、大学や企業のランナーも多く練習合宿に訪れているなど、主催者の千葉日報社と協力し、なお一層の富津市のPRに努めていただきたいと思います。

外部評価者（Ⅱ）の評価 B

「総合型地域スポーツクラブ」の数を増やすことが、施策の目標となっていますが、この事業活動はその地域によって様々な内容があるようです。学校の部活動と関わることで今日の課題も解消している地域もあるそうです。また、子供会や青少年相談員事業と連携することで“身近な地域”“生涯にわたって”という高齢社会における課題と地域の課題に対応できる内容もあるかと思えます。組織の立ち上げは容易ではない。筋道を立てる行政の強いリーダーシップを期待します。

人口減少・構成の変化及び市民1人ひとりのスポーツレクリエーションに対するニーズは多様なものがあります。社会体育振興事業が多様な競技大会を実施して対応しています。ふれあいスポーツフェスタ事業については、実行委員会や推進委員の方々のご苦労には敬意を表します。今後は「健康づくり」「体力づくり」をさらに前面に出し、健康づくり課とさらに連携したものを実施したほうがよいのではないかと。天候しだいでは、屋内での開催もできるようにしたいです。

各体育施設の管理運営、市民サービスの向上から各施設とも使用件数、人数が増加しています。今後、随時、老朽化の改善等で使用できない期間や多大な予算がかかる施設が想定されます。その計画や代替施設の案内など市民への情報提供を早めにお願ひしたい。